

法隆寺彫像における鼻梁側面観造形の特徴分析 Feature Analysis of Nasoglabellar Profiles in Horyuji Temple Statues

○小林茂樹¹ 土屋晋² 藤澤隆史² 長田典子²

¹形相研究所 ²関西学院大学

kobayashi@keisolabs.com

1. まえがき

法隆寺は、破壊・廃絶を免れた稀有の仏教寺院であり、多数の彫像を祀り、蔵する。彫像群は、飛鳥期から鎌倉期にいたる仏菩薩像から天部像や高僧像までの多種の像から成り、特に金堂本尊を始めとする最初期の像には、造像時期や由来がまだ議論の決着を見ていないものがある。

私たちはこれまで、中国石窟寺院の仏頭と平安期近江地方の観音像を対象に、造仏様式の計量的解析に関する研究手法を開発してきた[1][2]。この報告では、開発した分析手法を使って、法隆寺彫像群鼻梁造形様式の解析を試みた。

2. 方法

2.1. 鼻梁側面観の特徴 私たちは、彫像造形に適切に対応する特別な計測の設定が必要であると考えた。

仏陀像は、人間が悟りの境地を得た存在であることを表すために、人間的表象と超人的表象を併せもつ。超人表象の一つとして鼻梁が髮際から鼻尖まで直線的に伸びる「リニア型」造形がある一方、眉間が隆起し鼻根が陥凹する人間的な「起伏型」造形もある。本研究では、下記の特徴パラメータを設定した。

2.2. 特徴パラメータの設定

(図1, a: artificial)

(1)基準線：髮際(tr_a)から頤下端

(gn_a)に引いた直線(tr_a-gn_a)を基準線とする。

(2)鼻尖角(TA)：基準線と直線(tr_a-prn_a)がなす角度。

(3)鼻角(PA)：鼻尖から鼻梁に沿って延ばした直線と基準線がなす角度。

(4)眉間角(GA)：基準線と直線(tr_a-g_a)がなす角度。

(5)鼻根角(SA)：基準線と直線(tr_a-se_a)がなす角度。

2.3. 対象 法隆寺西院金堂、五重塔、講堂、食堂、聖霊院、西円堂、綱封蔵、東院夢殿、伝法堂、大宝蔵院所蔵の彫像50例。いずれも「奈良六大寺大観」[3]の側面観写真を取込み、デジタル画像上で計測を行った。

3. 結果

3.1. 角度比の対数変換 鼻尖角に対する鼻角、眉間角、および鼻根角の各比を対数変換し、それぞれ、LRNA, LRGA, LRSA とした。

3.2. 眉間角指数 新たに前額の突出に対応するパラメータとして(眉間角/10)の対数変換値を採用し、LGA10とした。ここで除数10は、常用対数に対応。

3.3. クラスター分析 上記4パラメータについてクラスター分析を行ったところ、図2に示す4クラスターに分類された。それぞれの特徴は以下のとおりである。

(1)CL1：「リニア型」髮際から鼻尖まで直線的な鼻梁

(2)CL2：「単調型1」眉間鼻根の起伏が小さく、鼻角大

(3)CL3：「単調型2」眉間鼻根の起伏が小さく、鼻角小

(4)CL4：「起伏型」眉間鼻根の起伏が大、人間に類似

4. 考察

4.1. 金堂本尊釈迦像と薬師像 両像

は共にCL3に属し、しかも伝法堂中の間阿弥陀三尊中尊像を介して極めて近縁にあることが判った。光背銘では薬師像造像が釈迦像に先行するが定説は逆である。成立期未解明の薬師像(金銅製)が、

天平期の伝法堂阿彌陀像(脱活乾漆)と近縁であることは興味深い。

4.2. 救世観音像と百濟観音像 両像共極めて優れた著名像であるが、外見上もその出自由来も非常に異なるものとされてきた。特に後者は由来がまったく不明とされている。しかるに本研究の結果、両像はCL1に属し、しかも鼻梁造形上非常に近縁にあることが判った。主成分分析の第1、第2主成分得点でも両像は極めて近い。このことから、両像は像容印象の著しい相違にも拘らず、基本的な造形様式において相当程度の近縁性を有することが推定される。

4.3. 金堂本尊釈迦像と救世観音像 両像は聖徳太子を写し、前者は「尺寸王身」(光背銘)、後者は「上宮王等身」(東院資材帳)とされている。しかし本分析結果によると、両像は異なる造形様式に属し、造形上相対的に離れたものであることが判明した。

文献

[1]小林, 土屋, 藤澤, 長田: “仏像面貌造形の特徴分析-鼻梁の側面観造形”, 日本顔学会誌, Vol. 6, No. 1, p. 169, 2006.

[2]小林, 土屋, 藤澤, 長田: “仏像頭部における鼻梁側面観造形の特徴分析”, 日本顔学会誌, Vol. 7, No. 1, 2007.

[3]奈良六大寺大観刊行会: “奈良六大寺大観”, 第二巻法隆寺二, 岩波書店, 第三刷, 1990, 第三巻法隆寺三, 岩波書店, 1969, 第四巻法隆寺四, 岩波書店, 1971.

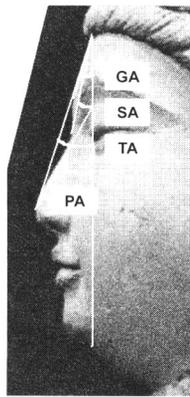


図1 計測角度

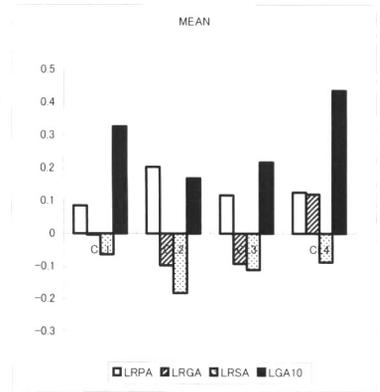


図2 各クラスターの特徴パラメータ平均値